日本内観学会

医師・心理療法士・内観面接士スーパーバイザー認定申請書

資格申請書（１）

日本内観学会理事長殿

　わたしは、ここに日本内観学会認定医師・心理療法士・内観面接士スーパーバイザー資格制度に則り、医師・心理療法士・内観面接士スーパーバイザー認定の申請をいたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日

　（フリガナ）

　　申請者氏名

　現住所　　〒

　℡　　　　　　　　　　　　　　　　e-mail

所属機関（役職）

所在地　　〒

　℡　　　　　　　　　　　　　　e-mail

 連絡先（○をつけてください）

　[１．現住所　　　２．所属機関　]

資格申請書（2）

申請者氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

＜A群＞内観面接経験

1. 現在、学会認定資格取得者である。（10点）**必須要件**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 保持資格の名称 | 点数 |
|  |  |  |

2. 集中内観体験者である。（1回10点、2回15点、連続2週間以上の集中内観25点25点）**必須要件**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 研修所名 | 点数 |
|  |  |  |

複数の点数が記されている場合は、その中の得点の高いものを記載してください。

3. 内観面接のスーパーバイジーの経験（10点）、スーパーバイザーの経験（20点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 研修名 | 点数 |
|  |  |  |

4. 集中内観の面接をした人数。ただし、一週間を通して面接をした人数に限る。

30人（10点）、50人（20点）、100人以上（30点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 面接した場所と回数 | 点数 |
|  |  |  |

複数の点数が記されている場合は、その中の得点の高いものを記載してください。

集中内観の面接は、日本内観研修所協会に所属する内観研修所または、日本内観学会常任理事会の推薦を得た内観研修所、施設（認定制度規則の付則1）においてなされた場合に限ることにする。

＜B群＞日本内観学会の活動状況

5. 日本内観学会や関連する学会で一般演題,シンポジウム,講演の業績がある（10点）**必須要件**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 大会名、一般演題名、シンポジウム名、講演名、開催年月日 | 点数 |
|  |  |  |

6. 内観研究や近接領域の学会誌に原著論文（単著20点,連名筆頭10点,連名5点）、短報、事例報告、論点（単著10点,連名筆頭8点,連名5点）が掲載されている。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | タイトル名、著者名、学術雑誌名、発行日 | 点数 |
|  |  |  |

複数の点数が記されている場合は、その中の得点の高いものを記載してください。

7. 内観に関連する単著（30点）や共著（15点）、共同執筆（10点）の業績がある。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 著書名、執筆者名、出版社、発行年 | 点数 |
|  |  |  |

複数の点数が記されている場合は、その中の得点の高いものを記載してください。

8. 海外の学会や研修会で一般演題、シンポジウム、講演の業績がある。10点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 学会・研修会名、演題名、開催年月日 | 点数 |
|  |  |  |

9.内観学会大会やワークショップや研修会の委員長（副委員長）の経験者。20点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 大会名、ワークショップ名、研修会名、開催年月日 | 点数 |
|  |  |  |

＜C群＞内観認定者養成のための研修・訓練にふさわしい学識

10. 内観をテーマにした卒業論文（10点）、修士論文（20点）、博士論文（30点）の業績がある。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 卒業論文名、修士論文名、博士論文名、発行年 | 点数 |
|  |  |  |

複数の点数が記されている場合は、その中の得点の高いものを記載してください。

11. これまでに大学や専門学校で非常勤講師、或いは専任教員として内観関連の授業を担当した業績がある。（20点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 大学・学校名、講座名 | 点数 |
|  |  |  |

12. 内観関連のテーマで主査として卒論指導（10点）、修論指導（20点）、博士論文指導（30点）、副査として卒論指導（5点）、修論指導（10点）、博論指導（20点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 卒論指導、修論指導、博士論文指導 | 点数 |
|  |  |  |

複数の点数が記されている場合は、その中の得点の高いものを記載してください。

A群、B群、C群の12項目の合計点　　　　　　　　点

＊A群,B群,C群の三つに渡って、12項目の合計点が**100点以上が必要。**

注意事項：

1. 認定に必要な取得単位の申請は自己申告制で、それを証明する書類を添付すること。
2. 学術集会・研修会・ワークショップでの演者や委員長・副委員長としての単位の算定には、それを証明するプログラムまたは論文の写しを添付すること。
3. 論文および著書は、内観にかかわる学術的なものに限る。申請時その別刷または写しを添付すること。
4. 研修会や大学・専門学校の講師は講義内容を証明する書類を添付すること。